

平成27年度 ほくぎん若手研究者助成金 研究実績報告書

氏名	所属・職名	助成金額
池田 文佑	人間発達科学部・准教授	600,000 円
研究課題名	世界的問題群に対する文明横断型倫理の構想 ー難民・国内避難民とジェンダー格差・暴力を例にー	
研究の概要	<p>本研究は、難民・国内避難民とジェンダー格差・暴力を例に、グローバルな規模で参照可能な、倫理の新しいあり方を探ることを目的とした。その背景には、(ア)世界的問題群(貧困、人道、ジェンダー、環境等)が増大し世界的倫理(グローバル倫理)が求められていること、(イ)グローバル倫理は支持され制度化される反面、それが各地域固有の価値と衝突していること、(ウ)その上で「グローバル倫理対地域的価値」という対立構図は乗り越えられる必要があること、という3つの事情がある。本研究は、倫理学と国際関係論が交錯する地点に立って、南アジアでのフィールドワークと理論考察という2つの方法を組み合わせるかたちで、「文明横断型倫理」というあり方を提起し、その可能性を考えたものである。</p>	
研究の成果	<p>助成期間中に、共著(ブックチャプター)1、共著論文(査読あり)1、海外報告2の成果をあげた。加えて、2016年度中に2度の国際学会報告(米国国際関係学会アジア太平洋部会、英国国際関係学会)が決定している。一連の成果はすべて英語である。</p> <p>当初予定していたバングラデシュへのフィールドワークは、2015年10月に発生した日本人殺害事件の影響、現地研究協力者の勧めがあつて取りやめとなった。代わりに、科学研究費補助金と併用する形で、2015年11月、2016年3月の2度、インド・ハリヤーナ州ならびにデリー市で資料調査、聞き取り調査、報告を行った。</p> <p>上記活動から明らかになったのは(ア)文明横断型倫理の理論を形成するためには、グローバル倫理を一端解体し、再構成する作業が必要であること、(イ)その解体過程においては、各文化圏から導かれる倫理観を析出し、それらを均衡させる作業が求められること、の2点であった。いずれも理論的考察による知見であり、下記研究成果(2)で一部は公表済みである(は、この議論をさらに進めたものである)。今後は、現地調査で得られたデータ・フィードバックをもとに、理論+ケースとして論文を作成し、英語での公表を進める。また、当初計画で行う予定であったバングラデシュへのフィールドワークは、現地の状況が安定し次第、実施を考えたい。</p>	
研究成果発表状況	<p>[雑誌論文, 学会発表, 図書, 新聞掲載, 研究に関連して作成したWebページ, 産業財産権(特許権等)の出願・取得状況について記入]</p> <p>1. Josuke Ikeda, '(Re)creating China: Sinology, the Kyoto School and Japanese View of Modern World', in Prapin Manomaivibool and Shih Chih-Yu (eds.), <i>Understanding 21st Century China in Buddhist Asia: History, Modernity and International Relations</i> (Bangkok: Chulalongkorn University Press, forthcoming), Chapter1.(ブックチャプター)</p>	

	<p>2. Shih, Chih-Yu and Josuke Ikeda, 'International Relations of Post-hybridity:Dangers and Potentials in Non-synthetic Cycles', <i>Globalizations</i> (electric version), 15 pages, DOI: 10.1080/14747731.2016.1143729. (論文・査読あり)</p> <p>3. Josuke Ikeda, 'Beyond Global Ethics', presentation at JSIA-Toyama Workshop on Global Humanitarianism: Humanity beyond Civilizations?, 23rd Nov. 2015, O.P. Jindal Global University, India. (海外報告)</p> <p>4. Josuke Ikeda, 'The World in Metamorphosis', presentation at International Workshop on China and IR Theorisation, 25th Dec. 2015, National Taiwan University, Taiwan. (海外報告)</p>		
経費の執行状況	区分	執行額(円)	備考
	図書	322,560 円	文明論・比較宗教倫理に関する論文集(計 10 冊)
	文具・事務消耗品	85,831 円	
	海外旅費	191,609 円	インド海外調査(2016 年 3 月実施)
		合計 600,000 円	